



2026年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2025年8月5日

上場会社名 文化シャッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <https://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小倉 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	48,676	5.1	292	△32.5	364	△77.4	△111	—
2025年3月期第1四半期	46,315	1.8	433	33.8	1,614	107.7	772	160.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,038百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 185百万円 (△72.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△1.57	—
2025年3月期第1四半期	10.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	196,967	108,481	55.0
2025年3月期	204,982	113,450	55.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 108,324百万円 2025年3月期 113,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	32.00	—	42.00	74.00
2026年3月期	—				
2026年3月期 (予想)		37.00	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	106,000	3.6	3,900	0.3	4,000	1.1	2,300	4.2	32.44
通期	240,000	5.1	16,800	14.1	16,500	11.7	11,500	△12.6	162.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 — 社 (社名) 、 除外 4 社 (社名) BX鐵矢株式会社 他3社

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	72,196,487 株	2025年3月期	72,196,487 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,295,451 株	2025年3月期	1,041,344 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	71,114,969 株	2025年3月期1Q	71,131,353 株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数 (四半期累計) の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした賃上げ等による雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大等により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、継続的な円安によるエネルギー価格・原材料価格の高騰や人手不足による供給力不足、米国の通商政策による景気の下振れリスクなど先行きの見通せない状況で推移しております。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資が堅調に推移しており、建設需要は底堅さを維持しているものの、建設コストの高騰や人手不足などにより新設住宅着工戸数は弱含みの動きが続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、48,676百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。利益面におきましては、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組んでおりますが、営業利益は292百万円（前年同四半期比32.5%減）、経常利益は364百万円（前年同四半期比77.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は111百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益772百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

工場・倉庫向けの重量シャッター等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20,448百万円（前年同四半期比6.4%増）となりましたが、営業利益は885百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

2. 建材関連製品事業

大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18,314百万円（前年同四半期比4.2%増）となりましたが、営業損失は248百万円（前年同四半期は営業損失232百万円）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応や定期保守メンテナンス等が堅調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,813百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、営業利益は837百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

4. リフォーム事業

ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しておりますが、住宅用リフォーム事業が低調に推移しました結果、連結子会社B Xゆとりフォーム株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,339百万円（前年同四半期比7.6%減）となり、営業損失は33百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業及び気候変動による地球温暖化に伴う夏場の暑熱対策として屋内用遮熱シート等を手掛ける遮熱事業に注力しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,760百万円（前年同四半期比19.7%増）となり、営業利益は195百万円（前年同四半期比30.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は196,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,014百万円減少しました。流動資産は111,018百万円となり、6,325百万円減少しました。これは、商品及び製品が増加(2,424百万円)、現金及び預金が増加(1,345百万円)、流動資産のその他が増加(1,239百万円)した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が減少(11,460百万円)したことが主な要因であります。固定資産は85,949百万円となり、1,688百万円減少しました。これは、のれんが減少(719百万円)、無形固定資産のその他が減少(499百万円)、投資有価証券が減少(253百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は88,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,046百万円減少しました。流動負債は52,568百万円となり、2,986百万円減少しました。これは、流動負債のその他が増加(2,037百万円)、短期借入金が増加(1,068百万円)した一方で、未払法人税等が減少(2,714百万円)、賞与引当金が減少(2,564百万円)、支払手形及び買掛金が減少(642百万円)したことが主な要因であります。固定負債は35,918百万円となり、59百万円減少しました。これは、退職給付に係る負債が増加(191百万円)した一方で、長期借入金が増加(215百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は108,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,968百万円減少しました。これは、配当金の支払いにより減少(3,001百万円)、為替換算調整勘定が減少(1,299百万円)、自己株式の取得により減少(576百万円)したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,109	41,454
受取手形、売掛金及び契約資産	45,543	34,082
電子記録債権	9,375	9,436
商品及び製品	9,921	12,346
仕掛品	1,281	1,394
原材料及び貯蔵品	8,451	8,381
その他	3,041	4,280
貸倒引当金	△380	△359
流動資産合計	117,344	111,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,774	13,668
土地	13,506	13,485
その他（純額）	14,251	14,183
有形固定資産合計	41,532	41,337
無形固定資産		
のれん	10,329	9,609
その他	7,298	6,798
無形固定資産合計	17,627	16,408
投資その他の資産		
投資有価証券	19,269	19,016
退職給付に係る資産	1,598	1,597
その他	7,866	7,849
貸倒引当金	△256	△260
投資その他の資産合計	28,478	28,203
固定資産合計	87,638	85,949
資産合計	204,982	196,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,704	11,061
電子記録債務	15,893	15,753
短期借入金	1,212	2,280
1年内返済予定の長期借入金	869	864
未払法人税等	3,585	870
賞与引当金	5,248	2,683
役員賞与引当金	144	50
工事損失引当金	603	671
その他	16,294	18,332
流動負債合計	55,554	52,568
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,440	2,225
役員退職慰労引当金	256	224
役員株式給付引当金	74	80
退職給付に係る負債	15,409	15,601
資産除去債務	67	67
その他	7,730	7,718
固定負債合計	35,977	35,918
負債合計	91,532	88,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,292	11,292
利益剰余金	78,919	75,806
自己株式	△1,079	△1,656
株主資本合計	104,183	100,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,179	4,276
繰延ヘッジ損益	0	△3
土地再評価差額金	△45	△48
為替換算調整勘定	2,030	730
退職給付に係る調整累計額	2,939	2,875
その他の包括利益累計額合計	9,104	7,830
非支配株主持分	162	157
純資産合計	113,450	108,481
負債純資産合計	204,982	196,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	46,315	48,676
売上原価	34,379	36,291
売上総利益	11,936	12,384
販売費及び一般管理費	11,503	12,092
営業利益	433	292
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	192	204
為替差益	1,130	37
その他	141	86
営業外収益合計	1,486	350
営業外費用		
支払利息	114	133
持分法による投資損失	173	103
その他	18	41
営業外費用合計	305	278
経常利益	1,614	364
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	16	7
特別損失合計	16	7
税金等調整前四半期純利益	1,599	359
法人税等	822	476
四半期純利益又は四半期純損失(△)	776	△116
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	772	△111

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	776	△116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	105
為替換算調整勘定	△815	△735
退職給付に係る調整額	△49	△61
持分法適用会社に対する持分相当額	177	△230
その他の包括利益合計	△591	△922
四半期包括利益	185	△1,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	△1,033
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったB X鐵矢株式会社及びB X東北鐵矢株式会社は、同じく当社の連結子会社であるB Xティアル株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外している。

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったB Xケンセイ株式会社及びB X文化パネル株式会社は、同じく当社の連結子会社であるB Xルーテス株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外している。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	19,217	17,574	6,602	1,449	44,844	1,470	46,315	—	46,315
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,217	17,574	6,602	1,449	44,844	1,470	46,315	—	46,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,155	8	103	2	1,270	210	1,480	△1,480	—
計	20,373	17,583	6,706	1,452	46,115	1,681	47,796	△1,480	46,315
セグメント利益又は損失(△)	1,030	△232	827	△4	1,619	149	1,769	△1,336	433

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,336百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,335百万円、棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	20,448	18,314	6,813	1,339	46,916	1,760	48,676	—	48,676
その他の収 益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客 への売上高	20,448	18,314	6,813	1,339	46,916	1,760	48,676	—	48,676
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	1,287	8	112	0	1,410	286	1,696	△1,696	—
計	21,736	18,323	6,926	1,340	48,326	2,046	50,373	△1,696	48,676
セグメント 利益又は損失 (△)	885	△248	837	△33	1,440	195	1,636	△1,343	292

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、遮熱事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,343百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,341百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,249百万円	1,300百万円
のれんの償却額	266	257